



しんぶん
こども新聞

おおのこ
大野つ子

60.3.15

だいご
第7号



そつぎょうきねん
卒業記念に
りゅうたいちずせいさく
立体地図を製作

いしかわ やすかわい そごう ちげ
乾側小学校 (安川五十三校長
じどう
児童105人)の6年生11人が、卒
業記念に「私たちの乾側、と題
した立体地図をつく
りしました。

さく せいの じゆん
昨年の11月中旬から製作に入
り、放課後の1時間ほどを利用
して約3カ月で完成させました。

たて よこ だい どうこうせん
縦・横 1.5mの台に、等高線
の形に切り取った発泡スチロー
ルと紙粘土を張り付けて山や谷
を作り、100mごとの標高に合
わせて色分けがしてあります。

だいいちう い がらしともかず
代表の五十嵐友一君は「2年
前の卒業生の作品を参考にして

作りました。山の形に合わせて
紙粘土を張り付けたり、ポスタ
ーカラーで色分けするのに苦心
しました。でも、在校生に乾側
の地形を理解してもらえれば大
変うれしいです」と話していま
した。

わらびよう

蕨生小学校



わたしたち

の

学校です

スキー学習

6年 城地愉生子

私たちの学校の周りは、田んぼばかりです。でも、その田んぼも冬には、すばらしいスキー場に変身します。はばが広いのでターンもできます。

校庭とだんだん畑を大きな板でつなぐともう出来上がりです。

これは、雪がこいの準備の時、父兄の方々が作ってくれたものです。

授業の始めは、スキーをはいて校庭を10周もしています。とても体があたたかくなります。

いよいよ待ちに待ったしゃ面での練習です。直滑降をしたり



スキー学習



蕨生小の校舎

竹で作ったポールを立てて回転の練習をしたりします。

タイムをとって練習することもあります。みんな自分のうでに合わせて、一生けん命練習しています。

このまえ、スキー大会をしました。みんなとてもまくなっていました。

いこいの広場

6年 杉森理知子

学校には、いこいの広場という自分たちで運営する広場の時間があります。

月曜日は奉仕的なこと、火曜日から木曜日は体育的なこと、金曜日は集会をやっています。

いまは、雪すかし、雪合戦、

百人一首、モップリレーなどをしています。

実行するまでに、代表委員会

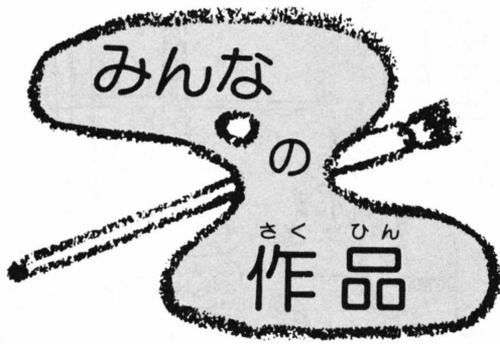
で内容や担当する委員会を決めます。

担当する委員会は、めあて、内容、準備物、隊形などを決めておきます。

本番では、司会をする人を中心に進めていきます。

児童会をはじめ、みんなが楽しいものにしようと努力しているので、初めのころにくらべると行動も早くなったし、静かに話を聞くようになり、とてもけじめがついて、すばらしいものになってきています。

それに、高学年が低学年の世話話をしあけるなど、思いやる心や、はげまし合う心も育ってきて、みんなとても仲よしです。



富田小一年 高石耕次君

学校から帰るととき
ふきのとうを見つけま
した。
ふきのとうは花を
つけていました。
一年たかるとこうじ

小山小二年
佐々木真理さん

春が来た。
つくしの
ぼうやが、
かわいい顔を
出しているよ。
小山二年 ささきままり



森目小3年 松田久美子さん

完成
皆藤昌利君

有終南小四年 皆藤昌利君



乾側小5年 室谷英明君

有終東小六年 前田研君
冬草枯木

★あなたの作品も紹介します★

次回の子ども新聞「大野っ子」は、7月に発行
します。みなさんの作品や話題を紹介するので、
市役所企画広報課（66-1111・内線254）へお知らせ
ください。

やま であら お しょう
山寺の和尚さん

— おくえちぜん むかし 奥越前の昔ばなしから —



むかしむかし、ある山寺に和尚さんと2人の小僧さんが住んでいました。

ある日のこと、だん家のほんこさんに行った和尚さんは、たくさんのおもちをもらって帰りました。

しかし、和尚さんはどうしたのか、そのもちを小僧さんにはやらずに、自分1人でいろり

で火をたきながら、熱い灰の中にもちを埋めておいて、焼けると「フーフー」と灰をふき「ポンポン」とたたいて灰をはらい落として食べていました。それを見ていた2人の小僧さんは、今もらえるか、今もらえるかと待っているのですが、ちっとも和尚さんから声がかかりません。

そこで、2人の小僧さんはな

んとかもちを食べる方法はないかと知恵をしばりました。「和尚さん、和尚さん」「ほうお、なんのことじゃいな」「私たちがこれからフーフーとポンポンと呼んでください」とたのんだのです。おかしなことを言うものだなと和尚さんは思われたのですが「よしよし、お前らの望みどおりにしてやる」と言われました。

よく朝、2人の小僧さんは、外の掃除をしながら、今か今かと耳をすまして待ちました。すると「フーフー、ポンポン」と言う和尚さんの声が聞こえました。2人は寺の中へ飛んで入り「和尚さん、何かご用ですか」「いや、お前ら呼んだおぼえはないぞ」「でも今、フーフーポンポンと聞こえたので」「いやはや、お前らのさく略には負けたぞ」と、それから、仲よく3人で分けあって食べたということです。

親と子のあそび

工作遊び

絵を動かそう

①アニメーションを見るだけでなく、自分で作ってみませんか。簡単なアニメーションの作り方をおしえましょう。最初からテレビのアニメーションのようにうまくはいかないけれど、まずは作ってみよう。

②まず、一辺が5センチぐらいの画用紙を20~30枚用意します。次に動かそうとする絵を画用紙に描きます。絵は動きのあるものがいいです。例えばボールにとび込むところとか、とび回るウサギなどです。

絵は、少しずつ違う動きを描きます。

③描きあがった絵を重ねて、紙の片端を親指と人差し指で持ち、トランプをさばくときのようにバラバラと放します。1枚1枚では動かない絵も、少しずつ違う絵を連続して見ると、動きだすのですね。